

専門科目(論述)〔世界遺産〕専攻

Academic Year 2007-08

*Examination for admission to the World Heritage Studies,
University of Tsukuba, Master's Program in Art and Design*

Special Subjects

解答にあたっての注意

- ① 論述試験の問題は、共通問題と選択問題から構成される。
- ② 解答は、日本語あるいは英語で記述すること。日本語による解答は、すべての設問についてそれぞれ800字以内、英語による解答は、すべての設問についてそれぞれ200語以内で記述すること。設問が①、②と分かれる場合、その合計がこれらの制限に収まるようにすること。
- ③ 共通問題には、世界遺産専攻の受験者全員が解答すること。
- ④ 選択問題(問1から問13)に関しては二問を選び、解答すること。
- ⑤ 選択問題の選択は、必ずしも入学後の志望分野、研究計画に対応しなくてもよい。
- ⑥ 共通問題および選択問題の解答は、それぞれ解答用紙表面に記すこと。一つの設問に対して、表面から裏面へと続けて記された解答は無効とする。図の挿入は可とする。

Instructions

1. *This examination is composed of two parts: compulsory and optional.*
2. *Answers should be given in Japanese or in English. For each question, answer in Japanese should be given in 800 characters or less, and answer in English in 200 words or less. If a question is divided into two smaller questions ① and ②, the sum of your answer should be within this limit.*
3. *The first question is compulsory. All candidates are to answer.*
4. *Questions numbered from 1 to 13 are optional. You are to choose two questions to answer.*
5. *Your choice in optional questions does not necessarily have to correspond to the field in which you would like to study in our Master's Program.*
6. *You are to use only one side of the answer sheet for each question. Do not write on the other side of the sheet. Illustrations may be added if necessary or indispensable.*

時 間.

Time 13:00 ~ 15:30

【共通問題】

Compulsory question

問

文化遺産として価値を持つ建築物を博物館として整備し、活用する場合、どのような問題や課題が想定されるかを論じなさい。博物館の管理主体や建築物の規模等の条件は自由に想定してかまいません。

【選択問題】

Optional questions

問 1

石材やレンガを積み上げてつくられた歴史的建築物の壁面には、しばしば亀裂が見られます。亀裂が生じる原因をいくつか挙げて、原因によって亀裂の状況にどのような違いが見られるかを論じなさい。

問 2

次の文を読んで世界遺産について思うところを述べなさい。

「19世紀半ば、ドイツのある田舎町に鉄道を敷くというので、ある教会の解体が提案された。しかし、住民は反対した。当局は、美術史的にはるかに優れた〇〇教会はきちんと保存するので、この教会の解体は認めてほしいと要望したが、住民は、我々にはこの教会が懐かしいのだ、と言って抵抗したのである。」

問 3

東大寺南大門の建築的特色について記述しなさい。

問 4

「世界遺産条約を履行するための作業指針」において、文化的景観は「自然と人間の結合による所産 (combined works of nature and man)」とされています。一方、日本の文化財保護法では文化的景観は「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの」と定義され、世界遺産の概念のほうがより広い枠組みで文化的景観をとらえています。

世界遺産の文化的景観の概念には相当し、かつ日本の文化財保護法による文化的景観にはあてはまらないものがありますが、それについて、

①具体的な事例をあげ、

②その事例の「自然と人間の結合」の価値は何によるものであるのか説明しなさい。

問 5

石見銀山遺跡、平泉はそれぞれ「石見銀山遺跡とその文化的景観」、「平泉―浄土思想を基調とする文化的景観」として近々世界遺産に登録される可能性が高い。それぞれの地で今後発生することが予想される観光現象を、いずれか1ヶ所を選んで具体的に述べるとともに、今からどのような対策を講じておくべきか論じなさい。

問 6

いま東京丸の内オフィス街の一角に、1894年に建設され、1968年に取り壊されたレンガ造建築「三菱一号館」を忠実に再建しようとする工事が進みつつあります。この建築及び復元計画に関して知るところを述べるとともに、文化遺産保護の立場からこのプロジェクトについてのあなたの考えを述べなさい。

問 7

最近、古民家ブームで伝統民家の古材を利用して古民家風の家を新築する事例が増えています。この方法は伝統民家の保存にとってどのような意味があるか論じなさい。

問 8

十分に水を含んだスポンジ（立方体）をそのまま自然乾燥させました。
乾燥時に起こるスポンジ内の水分移動を説明しなさい。なお乾燥時、何が律速因子になるのかも記しなさい。

問 9

バーミヤンの仏教遺跡が破壊されたことはまだ記憶に新しいところですが、世界遺産のなかには、現在、さまざまな政治的な理由から紛争が起こっている地域に存在するものも多くあります。あなたが世界遺産の調査や修復に参加した場合に、地域紛争の影響を受けて十分な調査ができないことも予想されます。そのようなときには遺産保護や修復の重要性について地域住民から理解を得るためには、どうすればいいのか、あなたの考えを記しなさい。

問 10

「世界遺産条約を履行するための作業指針」には、世界遺産に登録するための基準が設けられています。自然遺産に関わる登録基準について、基準の1つをあげ説明しなさい。

問 11

古代都市の実例を1つとりあげて、その概要と特徴を記しなさい。

問1 2

インドから伝えられた仏教美術が、中国においていかに変化したか（中国化したか）を雲岡石窟を例にとり説明しなさい。

問1 3

Discuss how the extent of degradation influences the conservation-restoration methods used on materials like metal, glass, ceramics, wood, stone, textile etc. Select one material type.